

安全な水とトイレを世界中に

独自の技術で環境問題の解決、人々の暮らしの改善に取り組む。

大成工業株式会社

取締役 TSS 事業部長 **松本安弘**

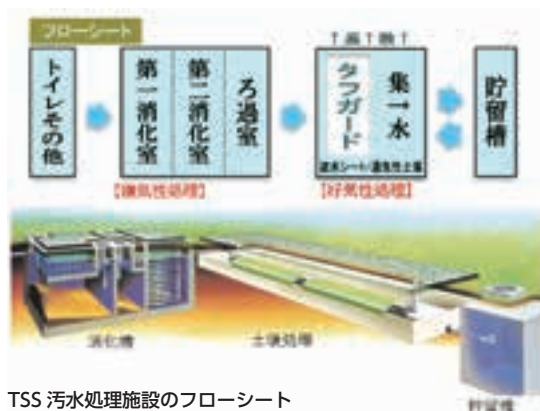


(まつもと・やすひろ) 大成工業のオリジナル商品である TSS 汚水処理の事業部長として、企画・設計、また北海道から与論島まで全国への営業を担当する。ソロモン諸島やインドなど海外事業も担い、現地に赴き施工指導を行っている。鳥取県米子市在住、とっとり SDGs 伝道師。

無放流の汚水処理施設

鳥取県の米子市に本社を置く当社は、浄化槽設置・管理・下水道接続、水道・水回り設備などを行っている。

当社が開発した TSS (Taisei Soil System) 汚水処理施設は、トイレから出た汚水や生活雑排水の敷地内処理を可能にする無放流の汚水処理施設。90% 以上という除去能力を誇る。



TSS 汚水処理施設のフローシート

TSS 汚水処理施設の長所として挙げられるのは、下水道のない場所や、浄化槽を設置するにも放流する公共水域がない場所などに設置可能であること。電気が使用できない、または河川敷公園のような電気を使いたくない場所にも設置できる。また、キャンプ場のようにオフシーズンがあっても処理能力が落ちず、くみ取

り回数を減らすことも可能である。

一方、短所としては、設計時に使用人数・計画処理水量を十分に把握しなければならないことと、処理装置自体が大きく設置には広い敷地が必要になることが挙げられる。

国や地域によって資材や工法を模索

主な設置実績を紹介したい。

国内

これまでに全国 500 カ所以上に設置実績がある。その特徴から用途は、山岳トイレ、オートキャンプ場、自然公園や世界遺産の公衆トイレ、高速道路やダム等の管理棟など、排水を出したくない場所、維持管理が困難な場所、電気を使いたくない場所と多岐にわたる。また工場やコミュニティセンターを誘致しながらも、その排水に対する周辺住民の理解が得られにくい場合などにも対応している。

ソロモン諸島

環境省の「2013 年度アジア水環境改善モデル事業」に選ばれ、ソロモン諸島のガダルカナル島ホニアラ市にあるセント・ニコラス校とマタニコ川沿いの公衆トイレの 2 カ所に設置。セント・ニコラス校では、現地の施工業者と協働し工事を進めた。マタニコサイト公衆トイレでは維持管理のため使用料を徴収。運営は赤字で